

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005年3月15日作成)

委員会名	建築プログラミング小委員会	主 査 名：井上 誠
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築経済委員会	委員長名：嘉納成男
設 置 期 間	2003 年 3 月 ～ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	プログラミングにおける手法・理論を確立することを目的とする。実務事例の収集・集積、プロセスや手法などの実情分析を主な研究活動とし、出版や研究会・協議会などを通じて、研究成果の実務への適用、学会会員への普及をおこなう	
委員構成 (委員名(所属))	井上 誠(福山大)、大久保克則(ハザマ)、嶋村仁志(千葉工大)、尾崎健夫(早大)、毛谷村英治(宮城大)、平野吉信(国総研)、藤本秀一(建築研究所)、溝上裕二(竹中工務店)、柳澤 要(千葉大)、柳父行二(大阪ガス)、山田哲弥(清水建設)、吉田一郎(竹中工務店)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2004 年度予算	70,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2004 年度は、大会期間中の開催も含め 4 回委員会を開催した。
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 建築学会大会パネルディスカッション(2004年) 「建築プロセスにおけるプログラミングの有用性」
	委員会 HP アドレス：
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 大会研究集会を通じて建築企画小委員会をはじめ、建築学会内外のプログラミングやブリーフィング、建築企画といった関連テーマに取り組む組織との委員・メンバーの相互乗り入れによるディスカッション、情報交換、研究分野の拡大と連携を図る事が出来た。
その他評価すべき事項	